

国際文化ゼミナール(その1)

2 units 3rd-year(1st semester)

Shoichi Yoshida · PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) ゼミナールという授業の性格から考えて、担当教師の専門や関心のありかを紹介して、それに興味のある学生諸君にこのゼミナールを受講してもらうのが本来でしょう。サブコースでいうと「哲学・思想」ということですが、なかでもわたしが専門としているのは古代ギリシアの哲学で、特にプラトンやプロティノスを読んでいます。それ以外に興味があり、少しは勉強もしたものとえば、新・旧約聖書、言葉をかえると、古代イスラエルの宗教思想やキリスト教思想ということになり、それとの比較という点から、仏教の思想にも関心をもっています。さらに関心のある哲学者の名前を挙げると、中世ではアウグスティヌス、アンセルムス、トマス・アキナス、近世ヨーロッパではスピノザ、ライプニッツやフィヒテ、シェリングなどということになります。しかし、哲学というのは、本来、何でも屋とか欲張りなところがある学問で、思想的な問題であれば、何でもあれそれに取り組み、勉強を始めるという意欲は、わたしも持っているつもりです。そうした点からすれば、諸君に何か思想的な興味があれば、それを一緒に勉強することもできるわけで、上に挙げた分野や哲学者の名前にはこだわらずに、哲学や思想に関心のある諸君が広く受講してくれれば、わたしとしても嬉しく思います。なお、国際文化ゼミナール(総論)の[目的]の部分も読んでください。

Outline) 哲学・思想分野のゼミナール

Keyword) *standard tactics, festina lente*

Notice) 国際文化ゼミナール(総論)の[注意]の部分を参照のこと。平成13年度以降に入学した学生が対象です。

Goal) 国際文化ゼミナール(総論)の[目標]の部分を参照のこと。

Schedule)

1. ゼミナールの具体的なテーマや授業の計画は、受講生諸君の実際の希望を聞いてから決定します。
2. 授業は15週行い、16週目は成績評価と評価の講評にあてる。

Evaluation Criteria) ゼミに対する取り組みの姿勢によって評価する。もちろん、口頭発表やレポートも評価の対象になります。

Re-evaluation) なし。

Textbook) 受講者と相談の上決定します。

Webpage) http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/tetsugak/phil_index.html

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218625>

Contact)

⇒ Yoshida (1-1N11, +81-88-656-7150, shoichi@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 吉田昌市:水曜12時から13時)

Note) 2011年度前期